



わんぱく 通信

2018年
6月

No.27

今月の
おすすめ
絵本

テーマ

あめのふるひは...



6がつはあめのおおいきせつですね。

あめがふったら、そとであそべなくてつまらないなあ。

いえいえそんなことはありません。

あじさいはきれいにさいて、かえるたちはたのしそうにうたっていますよ！

『かえるごようじん』



ウィリアム・ビー//さく
たなか なおと//やく
(セーラー出版)

もりのはずれにすんでいるおばあさんのもとへ、おそろしいまものがやってきました。おばあさんのみかたはいっぴきのちいさなかえるだけです。

『あかいかさ』



ロバート・ブライト//作
しみずまさこ//訳
(ほるぷ出版)

おんなのこが、あかいかさをもっておでかけします。かさのなかにどうぶつたちがたくさんやってきて、あめのひのさんぽはとつてもたのしそうです。

『ピッツアぼうや』



ウィリアム・スタイグ//作
木坂 涼//訳
(セーラー出版)

そとあそびがだいすきなピートは、あめがふってごきげんななめ。そんなピートをみて、おとうさんがいいことをおもいついたみたいですよ。

『あまがさ』



やしま たろう//作
(福音館書店)

あたらしいながぐつとかさをかってもらったモモちゃん。あめのひのさんぽがまちどおしくてしかたないのです。